

自分たちの力で。

～運動会を通して得たものは～

延期されていた運動会を行うことができました。昨年度はやむなく中止という判断になったのですが、今年度はこれまでの様々な事例を糧として、感染症対策に配慮した内容で実現することができました。

東雲小学校は伝統的に赤・青・緑・白の4つの色組に分かれています。運動会では、各学年の色組の結束力を高めるために、毎年6年生がそれぞれの色組のキャラクターを考えています。どのキャラクターが選ばれるかは、全児童と全教員の投票で決まります。プログラムに印刷されていたキャラクターは、こうして選ばれました。

東雲小学校の運動会を特徴付けるものとして、全員参加の綱引きと応援合戦があります。しかし、今年度は密集や密接の回避のため、綱引きは5・6年生の男子のみ、応援合戦は形態を変えて1～4年生は児童テントからの参加となりました。応援合戦は色組毎に趣向をこらしており、色組集会（応援練習）のときは、真剣に高学年から動きを教わっていました。声は出せなくても、手拍子や体の動きで一生懸命参加し、こころを一つにしようとする姿がよく見られました。



2年生（単式・複式）の子どもたちが取り組んだ種目は「大玉転がし」と「かけっこ」です。「大玉転がし」は2人組で力を合わせて頑張りました。前が見えなかったり、思った方向に進まなかったりしますが、それでも諦めません！たとえ一着でなくても、整列して座るところまで一生懸命頑張りました。「かけっこ」は後ろ向きに座った姿勢で待ちます。笛が鳴るまで動きを止め、合図と同時に走り出します。慣れない曲線を走ることにになりますが、バランスを崩しながらもゴールラインを切るまで全力で走り抜けました。

この運動会、なによりうれしかったことがあります。それは入場門で待つ姿です。学年通信でも少し触れましたが、他の学年の先生から「2年生の並び方がとてもよかった！」と聞きました。当日、担任団はそれぞれの係についているため、子どもたちの整列はほぼ自力です。普段とは違う熱気や活気につつまれている中で、うまく並ぶことができるだろうかと心配していたのですが、子どもたちは担任団の想像以上の力を発揮したようです。特に、「かけっこ」は運動会後半のプログラムだったので疲れもあったでしょうが、そのような中でも落ち着いて、静かにまっすぐ並び、自分たちで判断して行動していたことに感動しました。子どもたちは運動会という行事を通して、また一つ得たものがあったことでしょう。



大玉の直径は150cm！
子どもたちと比べると
大きさが
よく分かります。

体育館でも練習しました。
前が見えなくて進むのが大変です。



入場や退場も列をそろえて！
4人で並んで走るの難しい。

1年生と一緒に練習することも。
みんなも初めてだったけど、立ち
姿や並ぶ姿の手本になりました。

かけっこは1回きりの練習でしたが、集中して頑張りました。
(写真を撮ることができませんでした。)

